

# 会社案内



株式会社静岡産業システム

# 情報機器の“その先”まで 責任を持つ企業

あなたの会社が使い終えたパソコンやサーバーに、  
大切な「情報」が残っていませんか？

株式会社静岡産業システムでは、情報機器に残るデータを  
確実にかつ安心な方法で消去し、その機器を「廃棄」ではな  
く「価値あるリユース」へと導くご提案を行っています。

コスト削減・環境配慮・情報漏洩対策という3つの観点か  
ら、新たな選択肢をぜひこのご案内でご確認ください



# 会社概要

商号 株式会社 静岡産業システム (カブシキガイシャ シズカサンキョウシステム)  
設立 平成15年9月12日 (2003/9/12)

代表者 代表取締役 三輪 孝 (ミツ タカ)

所在地 〒410-0318 静岡県沼津市平沼698-1 高田倉庫内  
TEL. 055-967-8177  
FAX. 055-967-8180  
Mail. k-sizuokass@po3.across.or.jp

MAP



資本金 1000万円  
許可 古物営業許可 静岡県 第 49100A00186 号  
金融機関 沼津信用金庫 高島町支店

主取引先 株式会社新開トランスポートシステムズ  
東栄商工株式会社  
S B S 情報システム株式会社  
大興電子通信株式会社  
東京コンピュータサービス株式会社  
- 他 -

## 【代表挨拶】

私たち株式会社静岡産業システムは、静岡県沼津市を拠点に、小さなリサイクル企業として活動しております。

小規模な企業であるからこそ、「お客様一人ひとりに丁寧に向き合う姿勢」と「確実に誠実な作業」を何よりも大切にし、古物商の資格と専用機器を活用した安心・安全なデータ消去サービスを提供しています。

お客様の目の前でデータ消去を行うことで、情報漏洩リスクを徹底排除し、処理後の機器は有価買取にてコスト面でも貢献可能です。

さらに、再利用可能な機器は仕分け・販売によってリユースし、使用不可な機器も分解・素材ごとにリサイクルすることで、「廃棄ゼロ」を目指します。

私たちの仕事は、ただの回収業務ではなく、未来の環境と社会をつくる仕事。  
SDGsの精神にもとづき、資源の循環と環境配慮に誠実に取り組んでまいります。  
今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 三輪 孝

# 廃棄処分とリユース処理の比較

情報機器の処分方法には『廃棄処分(産業廃棄物)』と『リユース処理』の2つがあります。ここでは、費用面や作業の手間などを含めたお客様の視点から、両者の違いとリユース処理のメリットをご紹介します。

項目	廃棄処分(産業廃棄物)	リユース処理(静岡産業システム)
処分費用	● 処分単価(重量・品目による) ● 収集運搬費用 ● マニフェスト費用	✅ 機器を有価買取する → 基本費用は基本発生しません
必要な書類	● 産廃契約書の締結 ● マニフェスト(排出者記録義務)	✅ 契約書不要(売買契約扱い) ✅ マニフェスト不要
処理の流れ	回収 → 中間処理 → 焼却・埋立	✅ データ消去 → 回収 → 分別 or 整備 → リユース・再資源化
データ消去	自社対応 or 委託	✅ 物理破壊・磁気・ソフトウェア
作業立会い	基本不可(収集運搬業者による引き渡し)	✅ オンサイトでのデータ消去可能 → お客様に安心
環境配慮	埋立・焼却が中心のため CO <sub>2</sub> 排出や資源ロスの可能性	✅ 使えるものは再利用! 廃棄ゼロを目指す(SDGs 貢献)
所有権の扱い	処分委託なので管理責任が残る場合も	✅ 売却によって弊社へ所有権移転 →トラブル回避

## リユース処理のメリット(お客様側)

- 💰 コスト削減: 廃棄にかかる費用がゼロに。むしろ買取で収入に!
- 📄 手続き簡素化: マニフェストなどの書類不要。売却で完結。
- 🗝️ セキュリティも安心: データ消去はその場で実施可能。
- 🌍 SDGs や CSR に貢献: 環境配慮や持続可能性への姿勢を示せる。

正しく処理すれば、“捨てるはずの機器”も**資源として再活用**できます。

お客様のご負担を軽減し、社会貢献も実現する仕組みとして、ぜひ**リユース処理**をご検討ください。

# 情報機器リユースによる 環境配慮と経費削減のご案内

株式会社静岡産業システムでは、情報機器の「廃棄」ではなく「リユース」による処分を推進しています。これにより、以下のようなメリットが生まれます：

- ・ 産業廃棄物処理費用やマニフェスト発行のコスト削減
- ・ リユースによる有価買取の可能性
- ・ SDGs 達成への貢献や企業イメージの向上

下図をご覧くださいと、その流れと効果が一目でわかります。



# 静岡産業システムのデータ消去

情報機器を処分する際、データを残したまま廃棄すると、個人情報が出し、悪用される可能性があります。このような事態を防ぐため、専門業者にデータ消去を依頼し、データ消去証明書を発行してもらうことが重要です。

個人情報保護法では、企業が個人情報を適切に管理することが義務付けられています。データ消去を怠ると、法的責任を問われる可能性があります。データ消去証明書は、適切に情報処理を行っていることの証となり、コンプライアンスを遵守していることを示すことができます。

そのような、お客様のご要望にお応えするために、弊社では必要に応じて3種類の消去方法を提案します。

- 【1】 ソフトウェア消去
- 【2】 物理破壊
- 【3】 磁気破壊 ※ 後述にて詳細を説明します

## ✔ まずは構成案:3つのデータ消去方法とその特徴

消去方法	メリット	デメリット	向いているケース
① ソフトウェア消去 (ソフトウェア消去)	・機器を再利用可能 ・一括処理が可能 ・環境負荷が少ない	・消去到時間がかかることがある ・完全性はソフトに依存	・再販・リース返却 ・企業内データ整理
② 物理破壊(破碎・穴あけ)	・目視で「破壊済み」とわかる ・機密性が高い	・機器は再使用不可 ・破片処理の手間がある	・重要機密情報の含まれる機器 ・社内ガイドラインが厳しい場合
③ 磁気破壊(デガウス)	・データ記録面に直接作用 ・瞬時に消去可能	・SSD や光学媒体には非対応 ・外見は無傷で見た目では判断できない	・HDD の大量処理 ・内部データを見せたくない場合

弊社では、②③においては持運び可能な専門機器を使用しております

**オンサイト(現場)での消去作業が可能！**

## 【 物理破壊 】

物理破壊とは、HDD や SSD などの記録媒体を物理的に破壊し、データ回復を不可能にするデータ消去方法です。具体的には、ハンマーやドリルで叩き壊したり、専用のシュレッダーで粉碎したり、穿孔破壊(穴をあける)などがあります。

物理破壊のメリット

- ・ データの完全な消去が可能になり、情報漏洩のリスクを大幅に減らすことができます。
- ・ データ消去ソフトよりも、より確実なデータ消去が可能です。

物理破壊のデメリット

- ・ 作業はハードディスクを分解したり、専用の機械が必要になるなど、データ消去ソフトに比べて手間がかかります。
- ・ 物理破壊したハードディスクは、再利用できなくなります。

NIST や NSA などのガイドラインでは、物理破壊の方法によっては、データ復元可能な可能性があるため、より厳格な基準を満たすデータ消去が必要な場合は、データ上書き消去や磁気消去を検討した上で、物理破壊を行う必要があります。

物理破壊の方法: **穿孔破壊:**専用の機械でハードディスクに穴をあけ、記録面を破壊する方法です。

**粉碎:**シュレッダーや粉碎機でハードディスクを粉々に砕く方法です。

**破壊:**ハンマーやドリルで叩き壊す方法です。

日東造機(株) 社製 CrushBox DB-50Pro 使用



## 【 磁気破壊 】

磁気破壊とは、ハードディスクドライブ（HDD）のデータを、強力な磁力によって破壊し、読み取り不能にするデータ消去方法です。専用の磁気破壊装置（デガウサー）を用いて、HDD に強い磁場を印加し、磁気記録媒体を破壊します。これにより、データが完全に消去され、復元できなくなります。

HDD は、磁性体を塗布したプラッタ（磁気ディスク）に磁気信号を記録してデータを保存しています。記録されたデータは、磁性体の微小な磁石の向きによって表現されています。磁気破壊装置は、HDD に強力な磁場を印加し、磁性体の磁石をランダムな方向に並び変えます。これにより、元の磁気信号が破壊され、データが読み取り不能になります。

### 磁気破壊のメリット

- ① データ消去が短時間
- ② 壊れている磁気メディアでも消去可能
- ③ 全磁気メディア対応（HDD、磁気テープ、FD、磁気カードなど）

### 磁気破壊のデメリット

- ① 磁気破壊したメディアは再利用できない
- ② 見た目でもデータ消去済みかどうか判断できない
- ③ 磁気メディア以外（半導体メディア SSD、USBや光学媒体CD、DVDなど）は消去できない

磁気破壊の方法： 強磁気発生装置へメディアをセットしてスイッチを押すだけ！

アドバンスデザイン社製 MagWiper MW-15000X 使用



## 【 ソフトウェア消去 】

ソフト消去とは、パソコンや HDD、USB メモリなどのデバイスに保存されたデータを、ソフトウェアを使って完全に消去し、復元不能にする方法です。デバイスの再利用や廃棄の際に、大切なデータを第三者に読み取られないようにするための対策として利用されます。

ソフト消去のメリット

- データ漏洩の防止
- デバイスの再利用が可能
- 環境負荷の軽減



ソフト消去のデメリット

- 消去に時間がかかる 記憶メディアの速度と消去レベル(アルゴリズム)による
- 専門ソフトの必要性

### ★ 情報漏洩のリスク例

- 廃棄した PC から顧客名簿や社員情報が流出
- 機器を中古業者に売却後、業務データが復元された
- データの消し忘れによる法的責任や損害賠償

たった一台の PC でも、企業の信頼や存続に関わる問題に発展する可能性があります。

### ✅ 安心のために、「見える」データ消去を

静岡産業システムでは、お客様の目の前での**確実なデータ消去**を行い、**証明書の発行**や

その後の**機器リユース・リサイクル**までワンストップで対応！

「壊す」「消す」「渡さない」を基本に、**目に見える安心**を提供します。





**株式会社静岡産業システム**

**TEL 055-967-8177**

<https://sizuokass0000.wixsite.com/shizusasn>